

1. 基本理念及び運営方針

◎基本理念

東京聖労院は、「四恩報謝」(天地、父母、国、衆生の恩に報い、感謝するところ)の教えに根本を置いた「聖労」(報いを求めない聖き労働)を実践し、「地域とともに育つ」ことを常に忘れず、社会福祉の目的の実現をめざします。

法人の存在意義	東京聖労院は、「その時代時代の社会福祉課題」に「無私無欲」「先駆性」「開拓性」の精神で果敢に取り組み、その成果を以って公の利益に資するものとして存在します。
児童福祉事業の基本原則	<p>児童は、「保護の対象」ではなく「権利行使の主体」であり、児童の生きる権利、育つ権利、守られる権利、参加する権利を擁護し、児童にとっての最善の利益を考え、健やかな成長を実現するために、親、地域、行政、関係機関等と連携、協力して児童福祉事業の運営に取り組みます。</p> <p>北区の児童館の歴史、子どもセンターの基本方針・事業計画等を十分に理解し、地域の方々、団体等と真摯に向き合い信頼関係を構築しながら、児童館事業の運営に取り組みます。</p>

◎運営方針と目標

「児童と親と地域が望む 健全育成の未来を拓く いのち輝く子どもセンター」
<乳幼児親子の居場所となり、子育てにかかわるすべての人を支援します>

- ① 妊娠期からスタートする「親育ち子育て」中のだれもが安心して過ごし交流できる居場所となるよう努めます。
- ② 親子の仲間作り、子育てに関する情報提供・相談機能をより一層充実させます。
- ③ 乳幼児親子一人ひとりと向き合い、様々な問題の早期発見と対応に取り組みます。

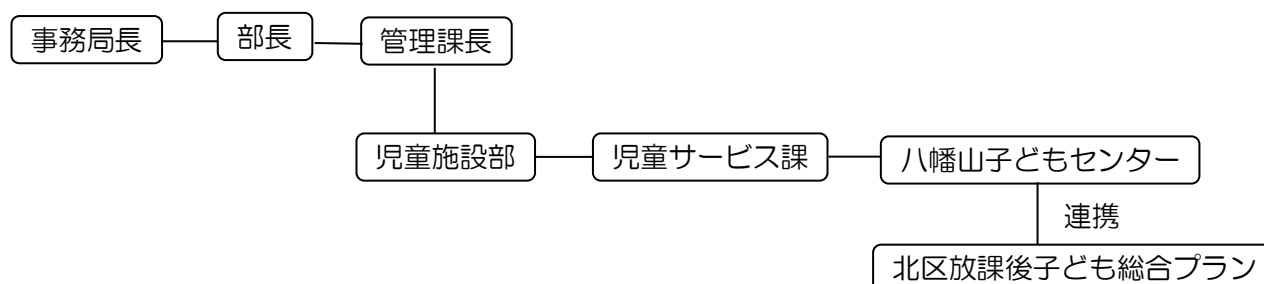
<十条の子育てネットワークの基地局として、地域と連携しながら機能を充実させていきます>

- ① 地域や近隣施設と連携し、祭りやイベントを通じて子育て支援ネットワークを強化します。
- ② 子どもと家庭を見守る地域づくりを進め、特別な配慮が必要な児童、家庭を支援します。
- ③ 放課後子ども総合プラン、中高生活動と連携し、適切な居場所としての役割を果たします。

<子育てを楽しめる魅力のある活動を行います>

- ① 来てよかった、また来たいと思われるような日常活動を行うよう工夫します。
- ② 季節の行事や日本の伝統の紹介などを取り入れ、幼児や若い保護者にも文化を伝承していくよう努めます。
- ③ 小中学生はジュニアボランティアとして活躍することで、乳幼児の保護者に我が子の成長した姿をイメージしやすくなるよう、また乳幼児にとっては憧れのお兄さんお姉さんとなるよう育成していきます。

2. 職員組織機構



3. 開館日時

東京都北区立八幡山子どもセンターの管理に関する仕様書に基づき、開館日時等について次のとおり行う。

開館時間 (児童館) 午前9時30分から午後5時30分

開館曜日 月曜日から土曜日

(ただし、年末年始の12月29日～31日、並びに1月1日～3日は休館とする。) 休館日 日曜、

1.乳幼児年齢別活動

乳幼児の活動は年齢別グループ活動を基本とし、発達段階に沿った内容（工作、読み聞かせ、運動遊びなど）を行った。プレイルーム全面を使ってのびのびと活動することができた。

各クラブ、活動とも密にならないよう参加人数を制限したりする工夫をしながら実施した。

実施日	活動	内容	参加人数	対象
4月～通年 (35回)	おまめたいむ ホップ	子どもの発達段階に応じて、2クラブのどれかに参加できる。年度途中での変更も可能。	735人	ねんね・ごろごろ・はいはい時期の子どもとその保護者
4月～通年 (35回)	おまめたいむ ステップ	手遊び、ふれあい遊び、ベビーマッサージ、保護者同士の話し合い、運動遊び、工作、読み聞かせなど。	497人	よちよち時期の子どもとその保護者
4月～通年 (34回)	おまめたいむ ジャンプ (登録制)	手遊び、ふれあい遊び、保護者同士の話し合い、運動遊び、工作、読み聞かせなど。	636人	R2.4/2～R3.4/1 生まれの幼児親子
4月～通年 (36回)	うさぎクラブ (登録制)	手遊び、ふれあい遊び、運動遊び、工作、読み聞かせなど。	642人	H31.4/2～R2.4/1 生まれの幼児親子
4月～通年 (36回)	ぱんだクラブ (登録制)	手遊び、音楽遊び、運動遊び、外遊び、工作、読み聞かせなど。	193人	H30.4.2～ H31.4.1 生まれの幼児親子

2.定例活動

運動あそびに特化したプログラム、音楽あそびに特化したプログラム、異年齢交流にもつながるプログラムなどを実施したことで、クラブ活動以外でも顔の繋がる交流のきっかけを作り出すことができた。自分より小さい子に寛容に接する子も多く、成長を保護者と一緒に共有した。

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、流行の様子を見ながら活動を実施した。各活動とも密にならないよう実施場所を変更したり、プログラム内容も感染防止に配慮した方法を工夫しながら実施した。

実施日	活動	内容	参加人数	対象
4月～通年 (12回)	身体計測 DAY	身体計測を行った。	88人	乳幼児と その保護者
4月～通年 (25回)	はちまん DAY	音楽遊びや、次月のカレンダー作りや読み聞かせなどを異年齢の子どもを対象に実施。	269人	乳幼児と その保護者
4月～通年 (44回)	きりんタイム	工作、ゲーム、季節の行事にちなんだ遊びなど。	409人	3～5歳児と その保護者
4月～通年 (21回)	はちZAP	月ごとにテーマを決めた運動プログラムを行った。	162人	3～5歳児と その保護者

4月～通年 (22回)	リトミック	講師を招き、幼稚園や保育園降園後に参加できるプログラム。	321人	3～5歳児とその保護者
16回	つなげよう！ ブラレール！！	プレイルームにて広く線路をつなげて遊ぶ。月1回のペースだったが、利用者の要望をうけ月2回に増やした。父親の参加が多かった。	312人	乳幼児とその保護者
12回	はしらせよう！ ミニカー！！	利用者満足度調査の結果をうけ、9月から開始。プレイルームにコースを設置し、ミニカーで遊んだ。父親も含めた家族連れの参加が多かった。	279人	乳幼児とその保護者
8月18日 11月28日 12月21日 1月6日 3月28日	全力！ カプラタイム！	カプラで作品を作ったり、崩す時の音を楽しんだりした。 8月と3月には、王子第三小学校の学童クラブの子がボランティアとして一緒に参加し、乳幼児と一緒に遊んだあと、小学生による読み聞かせも行った。	109人	主に乳幼児とその保護者

3.年間行事計画に基づく行事

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、以前のような形式での行事を行うことはできなかったが、可能な限りの感染対策を行い、運動会や館まつりなど、子どもたちの成長を感じる機会、親子同士や友達同士の思い出作りの機会となるべく行事を実施した。

実施日	活動	内容	参加人数	対象
10月26日	はちまんやま ハロウィン 運動会	清水坂公園にてハロウィンをテーマにした競技を実施した。	116人	乳幼児とその保護者
7月7日	きらきら☆ ちびっこ七夕 ～ハッピー フェスタ～	館まつりを縮小して、おまつり気分を味わえるように館内でミニゲームなどを行った。	216人	乳幼児とその保護者
12月8日	マジッククリスマス	定員を設け入れ替え制で、マジックショーや、サンタと記念撮影等を楽しんだ。	95人	乳幼児とその保護者
11月14日 ～ 11月26日	フードライブ	食品ロスを減らす啓発活動集まったものは社会福祉協議会に寄付した。この期間以外の寄付も柔軟に受け付け対応した。	寄付 114品	利用者 地域住民
1月10日 12日・13日 16日・20日	もちつきごっこ 遊び	各年齢別活動等で分散し、スライムを用いてもちつき遊びを行った。	91人	乳幼児とその保護者
3月18日	はちまんやま ふれあいタイム	定員を設け入れ替え制で自施設のベランダにて小動物とのふれあいを行った。	97人	乳幼児とその保護者

4.その他行事

新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、流行の様子を見ながら活動を実施した。各活動とも密にならないよう参加人数を制限しつつ、同内容を複数回行い多くの利用者が参加できるように配慮するなど、工夫をしながら実施した。

実施日	活動	内容	参加人数	対象
通年 (11回)	ヨガ☆タイム	保護者対象に、講師を呼びヨガを行った。講師は利用者の母親。	78人	保護者
6月21日 8月23日 10月18日 12月14日 3月2日	Fun! math! Time!	「長さ」「形」「時計」をテーマに、工作などを通して算数的思考を体験した。	62人	3～5歳児とその保護者
6月28日	園長先生に聞いてみよう!	じゅうじょうなかはら幼稚園の園長先生に、幼稚園の様子やそのころの発達の講話をいただき、保護者からの質問・相談を受けていただいた。	17人	公立・私立幼稚園への入園を検討している保護者
7月13・20日 9月7・14日	水遊び	ベランダで定員を設け入れ替え制で水遊びを実施した。	65人	7月→0～1歳児とその保護者 9月→0～5歳児とその保護者
8月1日	伝統工芸出張体験講座「陶芸」	北区産業振興課の伝統工芸出張体験講座。親子で陶芸に挑戦した。	32人	3～5歳児とその保護者
8月17日	保育園の先生に聞いてみよう!	清水坂つぼみ保育園の園長先生たち2名に来ていただき、保護者の不安や質問に答えていただいた。	17人	保育園入園を検討している保護者
8月17日～ 23日	打ち水大作戦!	「東京都打ち水大作戦」に参加した。雨水やすずぎ水などを使い、センター前の道や駐輪場に打ち水をした。	78人	利用者
8月17日・ 24日	はちまんやまウォーターパーク	ベランダ・工作室にて水をテーマにしたミニゲームを行った。雨天時は図書室・工作室で実施した。	42人	2～5歳児とその保護者
11月17日	水道キャラバン	東京都水道局の出前講座。水道水の美味しさや安全性を学んだ。	12人	2・3歳児とその保護者
10月24日	おしえて保育園ママ	保育園入園選者を控えた保護者の不安を解消するべく、先輩ママを迎えての交流会を行った。	23人	保育園入園選者を控えた保護者
2月4日	江戸囃子太鼓による獅子舞	定員を設けた2部制にし、お囃子や獅子舞といった伝統芸能にふれた。	86人	乳幼児とその保護者
2月27日	ようこそ! プレママ・プレパパおさがり・おゆずり交換会	出産前に、0歳児幼児クラブに体験参加し、先輩保護者からおさがりをもらうなど交流した。	36人 (内妊婦3人)	出産予定の夫婦、および0歳児の子を持つ保護者

3月6日	ぬいぐるみのおとまり会	子どもたちの大切なぬいぐるみを預かり、一泊させる。後日センターでぬいぐるみが遊んでいる写真を取り記念アルバムとして渡した。	10人	2歳児以上とその保護者
------	-------------	---	-----	-------------

5.北区子育て応援団事業・親育ちサポート事業

北区の乳幼児事業・子育てサポート事業・親育ちサポート事業として、以下の活動を行った。

実施日	活動	内容	参加人数	対象
隔月の第2土曜日	みんなでお祝い輝きバースデー	1歳のお祝いをし、計測を行った。北区からの記念品の受付窓口となった。	78人 (受付件数33件)	満1歳になった幼児と保護者等
9月16日 11月8日	幼稚園入園に向けての交流会	幼稚園入園を控えた保護者の先輩ママを迎えての交流会。	34人	1、2、3歳児の保護者
①5月～ ②9月～ 毎週水曜日 全4回	0ママほっとタイム	北区で今年度から始まった予防型プログラム。赤ちゃんとの過ごし方など、母親同士で話し子育てのヒントを得たり、仲間づくりにつなげる。	48人	おおむね生後6か月の子どもを持つ母親
1月～2月 毎週水曜日 全6回	ノーバディーズパーフェクトプログラム	カナダの親支援プログラム。最終回には「参加して良かった」と涙する保護者が複数いた。終了後も保護者同士連絡を取り合っグループが続いている。	10人 (保育11人)	0～6歳の子を持つ保護者

6.子育て相談活動

実施日	活動	内容	参加人数	対象
月2回	子育て応援隊による相談	子育て中の悩みについて、子育て応援隊（地域の民生・児童委員）が寄り添う活動。	多数	乳幼児とその保護者
月1回	心理相談員による相談	専門相談員による心理相談。別室での個別相談も対応。	多数	乳幼児・児童とその保護者
月1回	はぴママひよこ面接	出産・子育て期にわたって安心して子育てができるよう切れ目のない支援を目指した出産・子育て応援事業を実施した。	57人	乳幼児とその保護者

7.地域連携・交流行事

実施日	活動	内容	参加人数	対象
11月20日	フォトアドベンチャーラリー	北区青少年十条地区委員会のフォトアドベンチャーラリーの児童館コーナーを担当。	多数	小学生以上
12月14日	児童館ネットワーク事業 離れていてもあったか〜い輪わいわいフェスタ	民生児童委員、利用児童保護者が主体のイベント。昨年度に予定していた案をもとに2館をリモートで繋いで実施した。	38人	乳幼児とその保護者
11月29日	児童館ネットワーク事業 Mama-MAP ピクニック	Mama-MAP に載っている公園で地域の顔見知りを増やすことを目的に、おさがり交換会やプレイバルーンなどを実施した。	23人 (八幡山受付分)	乳幼児とその保護者

8.その他の活動

1) 広聴活動

「利用者満足度調査」を実施した際、自由記述で出ていた意見と回答を掲示した。その中から、「ミニカーあそびの実施」や「電池を入れる玩具を増やす」などの要望を取り入れ、企画実施・環境整備を行った。「年齢別活動ふり返し」では活動の感想や要望についてアンケートをとり、来年度のプログラムに反映させるべく、職員間で検討を行った。

こういった広聴活動以上に、日常的に利用者と多くのコミュニケーションをとることに重きを置き、センターに対する利用者のニーズ等を把握するよう努めた。

2月3日 16日・28日 3月6日 24日	年齢別活動 ふり返し	各クラブごとに一年を振り返り、センターへの要望をアンケート形式で集約した。	108人	保護者
--------------------------------	---------------	---------------------------------------	------	-----

2) 苦情対応

利用者からの苦情の申出に対しては毎月の「苦情対応委員会」に報告すると共に、法人全体で2回施設オンブズマンによる公正中立な立場からの改善勧告、指導を受けることとしている。今年度も要望や問い合わせ程度のものにとどまり、大きな苦情はなかった。

3) 広報活動

1. はちまんやま子どもセンターだより

毎月発行しているおたよりでその月の企画や行事を掲載している。運営委員メンバーをはじめ、学校、幼稚園、町会、地域の民生・児童委員の方等への配布を行っている。

2. ホームページ

北区ホームページの八幡山子どもセンターのサイトには施設の概要や行事の情報、毎月のおたよりなどを載せている。施設を利用したことのない人や遠方でなかなか来館できない人まで幅広い対象に子どもセンターをアピールしている。

3. 元気です

社会福祉法人東京聖労院の広報誌、年3回の発行。八幡山子どもセンターの活動の様子などを載せている。

4) 施設開放

地域に開かれた子どもセンター、子どもセンターの地域貢献をめざし、月曜日～土曜日の午後6時から9時、および日曜・祝日の午前9時から午後5時まで、施設開放を行っている。利用できるのは近隣地域住民のサークルなどで、事前に申請が必要である。今年度の登録は3団体。延べ1029人の利用があった。

5) ボランティア活動

ボランティアの受け入れは、職員間で共通理解を図りながら随時行っている。地域の民生・児童委員による“子育て応援隊”は幼児クラブだけではなく、行事の際にもご協力いただいていた。

また、館まつりの際には施設開放登録団体の有志や元子育て応援隊の方などにボランティアスタッフとして協力していただいているほか、地域の自然ふれあい情報館からもコーナー出店をもらった。ボランティアとしての人数には入れていないが、小学生や中学生もお店スタッフとして活躍してくれた。

実施日	活動	内容	受入数
通年	ボランティアによる企画及び行事協力	行事受付、身体測定補助など	72人

6) 防災訓練

利用者の安全を守るため、また、利用者の防災意識の向上、啓発につながるよう防災計画をたて、訓練を行っている。

実施日	活動	内容	参加人数
各月1回 (10月11月 を除く)	避難訓練	毎月の地震や災害を想定した避難訓練のほか、消火器使用方法、通報訓練など多岐にわたって実施する予定を立て、実施した。	97人
10月27日	不審者対応訓練	職員を対象に、不審者来館時の実際の対応訓練し、その後さすまたの使い方等の実技講習を受けた。	9人
11月5日	起震車体験	北区防災課職員による防災普及の推進と起震車体験。	85人